

安全データシート

作成: 2020年 9月 1日

改訂: 2024年10月18日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : RF026-04
製品名 : モンセレンフロアブル
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3823-6830
緊急連絡先 : 平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分2(中枢神経系、血液系、腎臓)

上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

・臓器(中枢神経系、血液系、腎臓)の障害のおそれ

注意書き

【安全対策】

- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

【応急処置】

- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名/一般名:

1-(4-クロロベンジル)-1-シクロペンチル-3-フェニル尿素/一般名: ペンシクロン

成分及び含有量: ペンシクロン

20.0%

<その他> 水、界面活性剤等

80.0%

ビス(2-エチルヘキシル)スルホサクシネート・ナトリウム塩として	1.4%
エチレングリコールとして	5.0%
イソプロピルアルコールとして	0.2%

化学式: $C_{19}H_{21}N_2OCl$ / ペンシクロン

官報公示整理番号:	化審法	2-1623	ビス(2-エチルヘキシル)スルホサクシネート・ナトリウム塩
		2-230	エチレングリコール
		2-207	イソプロピルアルコール
	安衛法	4-(13)-149	ペンシクロン

CAS RN [®]	66063-05-6	/ ペンシクロン
	577-11-7	/ ビス(2-エチルヘキシル)スルホサクシネート・ナトリウム塩
	107-21-1	/ エチレングリコール
	67-63-0	/ イソプロピルアルコール

4. 応急措置

眼に入った場合: 直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合: 汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹸を使って洗浄する。

吸入した場合: 被災者を直ちに新鮮な空気の場所に移動し、衣服を緩めて深呼吸をさせる。汚染された衣類や保護具を取り除く。多量に吸入した場合は、直ぐにはなにも症状が認められなくても、必ず医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合: 被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

5. 火災時の措置

消火方法: 粉末、炭酸ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

適切な消火剤: 水、強化液、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器及び乾燥砂等

使ってはならない消火剤: 情報なし

消火活動上の注意: 燃焼又は高温により有毒なガス(硫酸化合物等)が生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には保護具(8. ばく露防止及び保護措置欄参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。

環境に対する注意事項: 流出した製品が河川等に多量に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意: 取り扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに蒸気を発生させない。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。使用後の空容器は、一定の場所を定めて集積し、廃棄上の注意に従い処分する。

火災・爆発の防止: 通常の保管方法で問題無し。

保管上の注意: 通風をよくし、蒸気を滞留しないようにする。直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度:

イソプロピルアルコール: 200ppm

安衛則第577条の2第2項に基づく濃度基準値:

エチレングリコール: 10ppm(8時間濃度基準値)、50ppm(短時間濃度基準値)

許容濃度:

エチレングリコール: 25ppm(TLV-TWA)、50ppm(TLV-STEL) ACGIH(2018年)

イソプロピルアルコール: 400ppm(最大許容濃度) 日本産業衛生学会(2023年度)

設備対策: 取り扱いについては、局所排気装置を併用する。有害物が環境中に放出されないように、排気装置には除害設備を設ける。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための施設を設けることが望ましい。

保護具

呼吸用保護具: 適切な防じんマスク、防毒マスクを着用する(JIS T8151、JIS T8152に適合する防じんマスク、有機ガス用防毒マスク、農業用マスク等)

手の保護具: 保護手袋を着用する(ゴム手袋等)

眼の保護具: 保護眼鏡を着用する(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型等)

皮膚及び身体の保護具: 保護衣(不浸透性)を着用する(保護帽子、長袖保護服、保護長靴等)

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 白色水和性粘稠懸濁液体
臭い	: データなし
pH (原液)	: 6.0 - 9.0
融点/凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限及び爆発限界上限/可燃限界	: データなし
相対ガス密度	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 比重1.04 - 1.08 (20°C)
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数(log値)	: ヘンシロン log POW 4.68で20°C
粘度	: 300-500mPa・s (20°C)
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の保管環境下で安定
反応性	: データなし
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: ラット LD ₅₀	>5,000mg/kg	「区分に該当しない」
急性毒性(経皮)	: ラット LD ₅₀	> 2,000mg/kg	「区分に該当しない」
急性毒性(吸入:ガス)	: GHS分類上の気体ではない		「区分に該当しない」
急性毒性(吸入:蒸気)	: データなし		「分類できない」
急性毒性(吸入:粉じん/ミスト)	: データなし		「分類できない」
皮膚腐食性/刺激性	: ウサギ(♂) 極めて軽微な刺激性であり		「区分に該当しない」

	区分に満たない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: ウサギ(♂) 軽度の刺激性であり、区分に満たないため「区分に該当しない」とした。
呼吸器感作性	: データなし 「分類できない」
皮膚感作性	: モルモット(♀) (ビューラー法) 感作率0%で感作性は示さなかった。弱い感作性の可能性は否定できないが、区分に該当する十分な知見がないことから、「区分に該当しない」とした。 (参考) ペンシクロン原体:モルモット(♀)を用いたアレルギー試験において軽いアレルギー性炎症が認められている(陽性)。
生殖細胞変異原性	: データ不足 「分類できない」 (参考) ペンシクロン原体:微生物によるRec-assay試験、復帰変異原性試験、培養細胞 in vitro染色体異常試験、マウス優性致死試験、マウス小核試験はいずれも陰性
発がん性	: データ不足 「分類できない」 (参考) ペンシクロン原体:ラット、マウスの発がん性試験において発がん性は認められない。
生殖毒性	: 区分2に分類されるイソプロピルアルコールはGHSにおける濃度限界未満であり、データ不足のため「分類できない」とした。 (参考) ペンシクロン原体:ラットにおいて繁殖障害作用、催奇形性作用は認められない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分1(中枢神経系、血液系、腎臓)、区分3(気道刺激性、麻酔作用)に分類されるエチレングリコールが製品中に1.0%以上、10%未満含まれることから「区分2(中枢神経系、血液系、腎臓)」とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データ不足 「分類できない」
誤えん有害性	: データなし 「分類できない」

12. 環境影響情報

水生環境有害性

以下の知見から、水生環境有害性 短期(急性)及び長期(慢性)は「区分に該当しない」とした。

生態毒性

魚	コイ	: LC ₅₀ (96時間)	900 mg/l
甲殻類	オオミジンコ	: EC ₅₀ (48時間)	570 mg/l
藻類	緑藻	: ErC ₅₀ (24-72時間)	>300 mg/l
		: NOECr (24-72時間)	30 mg/l
残留性・分解性		: ペンシクロン 易分解性ではない。	
生体蓄積性		: ペンシクロン 生物濃縮因子(BCF) 226	
土壤中の移動性		: ペンシクロン 土壤中の不動態	
オゾン層への有害性		: データなし	
その他		: データなし	

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。容器の洗浄水等は河川に流さない。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に。車輦、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国際規制

国連番号(UN number) : 非該当
 国連輸送名(Proper shipping name) : 非該当
 国連分類(Class) : 非該当
 国内規制
 海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
 航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
 陸上規制情報 : 道路法、消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法律の規定に従う。
 緊急時応急措置指針番号 : 171

15. 適用法令

農薬取締法 : 第16137号（クミアイ化学工業(株)）
 消防法 : 非該当
 労働安全衛生法
 施行令第18条、第18条の2（表示、通知対象物質）
 : エチレングリコール(5.0%)（政令番号75）
 【2025年4月1日以降】
 エチレングリコール(5.0%)（安衛則別表第2の261）
 : 【2026年4月1日以降】
 ナトリウム＝1，4－ビス〔（2－エチルヘキシル）オキシ〕－1，4－ジオキソブタン
 －2－スルホナート(1.4%)（安衛則別表第2の1956）
 施行令第18条の2（通知対象物質）
 : プロピルアルコール(政令番号494)(0.2%)
 【2025年4月1日以降】
 プロピルアルコール(アルキル基の異性体を含む。)(0.2%)
 （安衛則別表第2の1780）
 安衛則第594条の2（不浸透性の保護具等、適切な保護具使用の義務）
 : 皮膚吸収性有害物質 エチレングリコール
 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 非該当
 毒物及び劇物取締法 : 非該当

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。
 使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献: 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
 2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
 2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
 3) GHS文書 改訂第6版(2015年)
 4) GHS分類ガイダンス(Ver.2.1) 経済産業省(令和6年5月)
 5) 農薬抄録「ペンシクロン」FAMICホームページ(2010年4月12日掲載)
 6) 資材メーカー提供「安全データシート」
 7) NITE-CHIRP 有害性・リスク評価情報

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大 阪（年中無休、24時間）	一般市民向け相談電話（無料）	072-727-2499
	医療機関専用有料電話（1件2,000円）	072-726-9923

つくば（年中無休、24時間）	一般市民向け相談電話（無料）	029-852-9999
	医療機関専用有料電話（1件2,000円）	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。